

# 震災時の医療について知っておこう

大規模震災時の医療機関では、多くの負傷者が押し寄せるため、緊急性や重症度に応じた診療活動を行います。一人でも多くの命を救うため、皆さんの自助・共助による助け合いや、症状に応じた受診のご協力をお願いします。



## 皆さんの自助・共助による応急手当



- ✓ 軽いけがや発熱は自分や家族、隣近所の人に応急手当をしてもらいましょう
- ✓ 日頃から薬や応急手当用品を用意しておきましょう

## 重症度に応じた行動

1 軽症

- ✓ 生命の危険がなく、歩行できる

2 中等症

- ✓ 今すぐの生命の危険はないが歩行できない

3 重症

- ✓ 生命の危険が切迫している／生命の危険の可能性がある

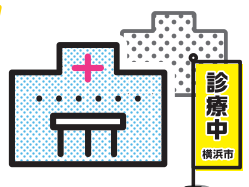
## お近くの診療所・薬局

のぼり旗が掲示されています。



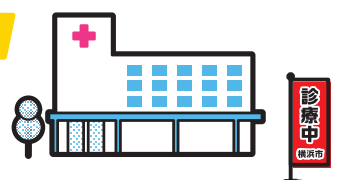
## 災害時救急病院

菊名記念病院  
高田中央病院  
ほか市内94病院



## 災害拠点病院

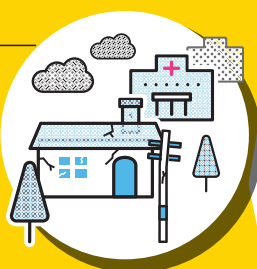
横浜労災病院  
ほか市内13病院



## 医療救護隊

震度6弱以上の地震が発生した場合に、医師・歯科医師・薬剤師・看護師等で編成され、区内2拠点での定点診療や地域防災拠点等での巡回診療を行います。

- 港北区休日急患診療所
- 日吉台中学校コミュニティスクール



※診療所、病院、薬局、医療救護隊の活動は、被災状況により実施できない場合があります。

災害時、診療可能な医療機関は「診療中」ののぼり旗が掲示されます。

